

# 広域的地域活性化基盤整備計画

やつがたけさんろく かるいざわちいき  
**八ヶ岳山麓・軽井沢地域【第6回変更】**

ながのけん  
**長野県**

関係市町村(上田市、佐久市、小諸市、岡谷市、茅野市、軽井沢町、下諏訪町、長和町、小海町、立科町、南牧村)

平成24年3月

注)・「関係市町村」欄には、広域的地域自立・活性化法第5条第5項の規定による意見聴取が必要な市町村をすべて記載すること。  
・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 目次

○ 広域的地域活性化基盤整備計画の目標および計画期間	1
○ 拠点施設	2
○ 広域的地域活性化基盤整備計画の整備方針と基本的な方針等との整合性	11
○ 交付対象事業等一覧	12
○ 拠点施設・重点地区	14
○ 整備方針概要図	15

## 広域的地域活性化基盤整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野	計画の名称	ハケ岳山麓・軽井沢地区
計画期間	平成19年度～平成23年度	交付期間	平成19年度～平成23年度

### 広域的特定活動

国際的な観光地である軽井沢を訪れる観光客の円滑な交通アクセスの確保、ハケ岳山麓の自然体験の推進を図る。

### 目標

軽井沢地区及びハケ岳山麓地域における交通諸問題を解決し、広域観光の活性化を目指す。

### 目標設定の根拠

#### 経緯及び現況

県内でも有数の観光地である上田・佐久地域は、平成9年をピークに観光入込客数が減少傾向にあり、また地場産業でもある野菜の出荷額も伸び悩んでいる。佐久地域においては平成22年度の中部横断自動車道の佐久南IC(仮称)開通予定にあわせて、観光資源の再発見及び整備を進めている。

#### 課題

- ・上田市市街地、小諸市街地、佐久市岩村田地区等で実施しているまちづくり交付金事業エリア内最大の観光地である軽井沢との連携の強化
- ・小海町佐久穂町などのまちづくり交付金と霧ヶ峰、美ヶ原やハケ岳山麓の観光資源との連携の強化

#### 将来ビジョン(中長期)

中部横断自動車道の佐久南IC(仮称)開通予定にあわせ、観光資源の再発見及び整備を行っている各拠点の交流強化を図る。特に、国際観光都市軽井沢を核として、上田地域にある各観光拠点との連携を深めることにより、広域的に一体となった観光メニューの提供が可能となることから、更なるアクセス道路等の整備を進め、観光客の増加を図る。

### 目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値
				基準年度	目標年度	
都市農村交流人口	千人	農業体験施設の宿泊数	宿泊数の増加により観光振興の指標になる	514千人	平成17年度	530千人
来場者数	人	諏訪市の「諏訪圏工業メッセ」の来場者	諏訪市の商業観光施設であり、来場者数が観光振興の指標になる	23,100人	平成17年度	27,000人
歴史関連施設利用者	人	黒曜石体験ミュージアム和田本陣利用客	長和町の観光施設であり、利用客数が観光振興の指標になる	21,000人	平成17年度	26,000人

## 拠点施設

施設名	軽井沢(軽井沢観光施設)	所在地	長野県軽井沢町
設置主体	軽井沢観光協会、民間等	管理・運営主体	軽井沢観光協会、民間等
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第2条2項2号
広域的特定活動の区分	第2条1項1号口	拠点施設の整備の有無	無

### 拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等

#### <概要及び整備計画>

国際的なリゾート地である軽井沢は、2005年には、「軽井沢大賀ホール」がオープンしたことにより、従来の自然散策、ショッピング、グルメに新たに芸術鑑賞が加わり多様な魅力を持った地域となっている。

#### <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性>

長野県内で最大規模の観光施設であるが、今後は地域内の各施設との連携強化により、広域的観光エリアの形成を図るため、(主)下仁田軽井沢線、(一)松原湖高原線の整備を推進する。

#### <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係>

長野県内で最大規模の観光施設であるが、今後は地域内の各施設と連携を強化することにより更なる魅力の発揮のため広域的な連携強化を図る。

### 拠点施設で行われる広域的特定活動の内容

#### <現況>

国際的なリゾート地である軽井沢は、2005年には、「軽井沢大賀ホール」がオープンしたことにより、従来の自然散策、ショッピング、グルメに新たに芸術鑑賞が加わり多様な魅力を持った地域となっている。

#### <将来>

国際的なリゾート地である軽井沢には、様々な魅力があり、更に、この魅力を高めるため、歴史資産が多い小諸市やハケ岳山麓との連携により相互の魅力を高める。

### 広域的特定活動との関係

#### <拠点施設整備の蓋然性>

#### <拠点施設に設定した理由>

国際的なリゾート地である軽井沢については、様々な魅力があり、よりこの魅力を高めるため、歴史資産が多い小諸市やハケ岳山麓との連携により相互の魅力を高めることにより、広域的な観光振興が可能である。

### 重点地区(設定する場合に記述)

## 拠点施設

施設名	懐古園	所在地	長野県小諸市
設置主体	小諸市	管理・運営主体	小諸市懐古園事務所
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第2条2項2号
広域的特定活動の区分	第2条1項1号口	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 小諸城(別名懐古園)は、平成18年度は約67万人の観光客が訪れる観光地であるが、平成8年の121万人をピークに、観光客の減少は著しい。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 平成17年度から実施しているまちづくり交付金事業により、懐古園周辺の整備を進めており、新たな観光拠点として期待される。			
<目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> 平成17年度から実施しているまちづくり交付金事業により、旧北国街道の宿場町としての趣を取り戻しつつあり、今後は地域最大の観光拠点である軽井沢との連携強化により広域的な観光振興を目指す。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況> 懐古園は、小諸城址の別名であり、文豪島崎藤村が滞在し、様々な作品を発表したことで有名であるが、新幹線の駅が設置されなかったことから、観光客の減少に歯止めがかからない状況にある。			
<将来> 現在小諸市は、まちづくり交付金事業により、城下町や旧北国街道の宿場の復元を進めしており、これらの施設を核として地域一体となった観光面での魅力がアップする。			
広域的特定活動との関係			
<拠点施設整備の蓋然性>			
<拠点施設に設定した理由> 現在小諸市は、まちづくり交付金事業により、城下町や旧北国街道の宿場の復元を進め、地域一体となった観光面での魅力アップを図っていることから、観光客の増加は可能であり、また浅間山や高峰高原への玄関口としての機能も期待できる。			
重点地区(設定する場合に記述)			

## 拠点施設

施設名	松原湖・松原湖高原(観光施設)	所在地	長野県小海町
設置主体	小海町観光協会・小海町開発公社	管理・運営主体	小海町観光協会・小海町開発公社
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第2条2項2号
広域的特定活動の区分	第2条1項1号口	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 松原湖は、平成18年度は年間18万人の観光客が訪れる観光地であるが、近年のスポーツの多様化により、ゴルフ場、スキー場等様々な施設が有効利用されていない。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 松原湖は、近接するハケ岳高原との連携強化により、総合的な観光エリアとして期待されていることから、そのアクセス道路となる(国)141号、(国)254号、(主)下仁田軽井沢線、(一)松原湖高原線の整備を推進する。			
<目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> 松原湖は、近接するハケ岳高原との連携強化により、総合的な観光エリアとして、期待されているが、今後は更に軽井沢との広域連携により、観光客の増加を目指す。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況> 松原湖は、ハケ岳連峰、天狗岳の噴火でできた大小10の湖から構成されている。周辺は、昔から変わらない原生林に囲まれ、滞在型リゾート施設等が設置され魅力的なエリアを形成しているが、観光客の集客に結びついていない状況である。			
<将来> 滞在型リゾート地として、キャンプ場、ゴルフ、スキー場、温泉などの既存施設の有効利用を図り、観光客の増加を図る。			
広域的特定活動との関係			
<拠点施設整備の蓋然性>			
<拠点施設に設定した理由> 滞在型リゾート地として、既にキャンプ場、ゴルフ、スキー場、温泉などの既存施設があり、また、まちづくり交付金事業により、集中的に整備を進めている地域であることから拠点施設としてのポテンシャルが高い。			
重点地区(設定する場合に記述)			

## 拠点施設

施設名	蓼科高原(白樺湖周辺観光施設)	所在地	長野県茅野市、立科町、長和町
設置主体	茅野市観光連盟、民間等	管理・運営主体	茅野市観光連盟、民間等
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第2条2項2号
広域的特定活動の区分	第2条1項1号口	拠点施設の整備の有無	無

### 拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等

#### <概要及び整備計画>

白樺湖は、平成6年度の139万人をピークに、減少傾向にあり、平成18年度は100万人まで減少している。

#### <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性>

白樺湖がある蓼科高原は、隣接する霧ヶ峰高原や美ヶ原高原とともに、国立公園を形成している。今後は、豊かな自然と歴史との組み合わせや広域的な連携強化により、個性的なサービスの提供が課題である。そのため広域的な連携強化に資する(主)諏訪白樺湖小諸線の整備を推進する。

#### <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係>

白樺湖がある蓼科高原は、隣接する霧ヶ峰高原や美ヶ原高原とともに観光地を形成しているが、個性的なサービスの提供等による差別化が課題である。

### 拠点施設で行われる広域的特定活動の内容

#### <現況>

白樺湖は、蓼科高原の中心として、湖の周囲に、様々な観光施設が設置されている。しかしながら、それらの施設には類似のものも多く、独自性を発揮できないことから、観光客の減少が続いている。

#### <将来>

白樺湖は、諏訪地域との連携が強かったが、今後は、諏訪に加え佐久・上田地域との連携を強化することにより、その中心として、個性的な地域を形成し、広域的振興を目指す。

### 広域的特定活動との関係

#### <拠点施設整備の蓋然性>

#### <拠点施設に設定した理由>

昭和50年代から開発された白樺湖は、主なアクセスが諏訪地域であったが、新幹線の開業に伴う首都圏からの利便性の向上や、国内有数の観光地である軽井沢との連携強化により、相互補完を図り広域的な観光振興が可能である。

### 重点地区(設定する場合に記述)

## 拠点施設

施設名	野辺山高原	所在地	長野県南牧村
設置主体	南牧村観光協会、民間等	管理・運営主体	南牧村観光協会、民間等
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第2条2項2号
広域的特定活動の区分	第2条1項1号口	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 野辺山高原は、隣接する山梨県清里とともに一体の観光エリアを形成しているが、平成5年度の34万人をピークに、観光客は減少傾向にあり、平成18年度は26万人まで減少している。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 野辺山高原は、隣接する清里とともに、ハケ岳山麓で、観光エリアを形成しているが、今後は、高原の豊かな自然と各観光施設との連携により、個性的なサービスの提供が課題であるため、(国)141号の整備を推進する。			
<目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> 野辺山高原は、隣接する清里と一緒に観光エリアを形成しているが、エリア内にある観光施設との連携に加え、軽井沢や中山道の宿場等との連携により多様な観光サービスを提供し、広域観光振興を図る。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況> 野辺山高原は、様々な観光施設が設置されているが、類似施設が多く、独自性を発揮できず、観光客の減少が続いている。			
<将来> 野辺山高原は、山梨県清里との連携により一体の観光エリアを形成しているが、今後は、佐久・軽井沢地域との連携を強化することにより、観光地としての魅力を高め、広域的振興を目指す。			
広域的特定活動との関係			
<拠点施設整備の蓋然性>			
<拠点施設に設定した理由> 昭和50年代から開発された野辺山高原は、地域としての個性発揮ができず観光産業の低迷が続いているが、新幹線の開業に伴う首都圏からの利便性向上や国内有数の観光地である軽井沢との連携強化と相互補完により、広域的な観光振興が可能である。			
重点地区(設定する場合に記述)			

## 拠点施設

施設名	丸子温泉郷	所在地	長野県上田市
設置主体	鹿教温泉旅館組合、民間等	管理・運営主体	鹿教温泉旅館組合、民間等
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第2条2項2号
広域的特定活動の区分	第2条1項1号口	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 丸子温泉郷は、温泉療養で有名な鹿教温泉を中心とした温泉街であるが、平成7年度の65万人をピークに、観光客は減少傾向にあり、平成18年度は42万人まで減少している。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 丸子温泉郷は、温泉療養で有名な鹿教温泉が中心として温泉エリアを形成しているが、温泉のみであり観光客の減少が続いている。このため、観光面で多様性が欠けている面がある。このため、今後は、霧ヶ峰高原と上田・小諸・松本にある歴史施設との連携により、観光客様々なかつ個性的なサービスの提供を目指し、(国)254号の整備を推進する。			
<目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> 丸子温泉郷は、温泉療養で有名な鹿教温泉が中心として温泉エリアを形成しているが、温泉のみであり観光客の減少が続いている。このため、観光面で多様性が欠けている面がある。このため、今後は、霧ヶ峰高原と上田・小諸・松本にある歴史施設との連携により、観光客様々なかつ個性的なサービスの提供により、広域的観光エリアの形成を目指す。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況> 丸子温泉郷は、温泉療養で有名な鹿教温泉が中心として温泉エリアを形成している。そのため、温泉療養施設が充実しているが、これらを十二分に生かせていない状況にある。			
<将来> 丸子温泉郷は、周辺の霧ヶ峰高原や上田・小諸・松本にある歴史施設との連携により、多様化する観光客のニーズに応えるとともに個性的なサービスの提供により、広域的観光エリアの形成を図る。			
広域的特定活動との関係			
<拠点施設整備の蓋然性>			
<拠点施設に設定した理由> 古くから湯治の場所として栄えていた丸子温泉郷は、一時は温泉ブームと健康志向により、多くの観光湯治客が訪れていたが、クアハウス等の類似施設の乱立により、観光客の減少状況にある。新幹線の開業、及び松本・上田地域との連携により、相互補完による広域的な観光振興が可能である。			
重点地区(設定する場合に記述)			

## 拠点施設

施設名	諏訪大社	所在地	長野県下諏訪町
設置主体	諏訪大社	管理・運営主体	下諏訪観光協会、民間等
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第2条2項2号
広域的特定活動の区分	第2条1項1号口	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 諏訪大社は、全国的に有名な神社であるが、平成6年度の110万人をピークに観光客は急激な減少傾向にあり、平成18年度は54万人まで減少している。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 諏訪大社は、近年周辺の交通環境の悪化や他の観光施設との連携が円滑でない等により、観光客が急激に減少している。このため隣接する霧ヶ峰高原や軽井沢等との広域観光ネットワークを形成することにより、広域的な観光振興が可能である。そのため、そのアクセスとなる(国)142号の整備を推進する。			
<目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> 諏訪大社は、近年周辺の交通環境の悪化や他の観光施設との連携が円滑でない等により、観光客が急激に減少している。しかしながら、知名度や歴史的価値も含めポテンシャルは高いものがある。このため隣接する霧ヶ峰高原、更には軽井沢等との広域観光ネットワークを形成し、広域的な観光振興を図る。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況> 諏訪大社は、歴史的価値も含め、全国的に有名な神社であるが、近年周辺の交通環境の悪化や他の観光施設との連携が円滑でない等により、観光客が急激に減少している。			
<将来> 諏訪大社は、隣接する霧ヶ峰高原、更には軽井沢等との広域観光ネットワークの形成により、広域的な観光振興が可能となることから諏訪地域の観光拠点の中心として位置付け、広域的振興を目指す。			
広域的特定活動との関係			
<拠点施設整備の蓋然性>			
<拠点施設に設定した理由> 諏訪大社は、全国的に有名な神社であり、またその歴史は大変古い。近年周辺の交通環境の悪化や他の観光施設との連携が円滑でない等により、観光客が急激に減少している。このため隣接する霧ヶ峰高原、更には軽井沢等との広域観光ネットワークの形成により、相互補完を図ることで広域観光として魅力を高めることができる。			
重点地区(設定する場合に記述)			

## 拠点施設

施設名	諏訪湖博物館赤彦記念館などの観光施設群	所在地	長野県岡谷市・諏訪市・下諏訪町
設置主体	下諏訪町・岡谷市・諏訪市他	管理・運営主体	下諏訪町・岡谷市・諏訪市・諏訪地域観光協会他
設置(予定)年月	建設中	拠点施設の区分	第2条2項2号
広域的特定活動の区分	第2条1項1号口	拠点施設の整備の有無	有

### 拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等

#### <概要及び整備計画>

諏訪湖をとりまく文化芸術・温泉・健康施設は、それぞれに特色を持ち情報発信を行っているため、平成18年は年間543万人の観光客が訪れた。一方、近年の余暇の過ごし方の多様化により、これまでのような施設単体の魅力だけではなく、各施設を複合的かつ有機的に連携し、一体化するネットワークの構築が強く望まれている。このため岡谷湖畔公園及び諏訪湖博物館赤彦記念館については更なる魅力アップのため、現在整備改修中である。

#### <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性>

今後、拠点施設であり基幹事業箇所に隣接する岡谷湖畔公園の整備及び、諏訪湖博物館赤彦記念館の改修の完成が数年内に見込まれている。これら湖周の観光施設群の更なる湖周道路利用者の増加が見込まれるため、諏訪湖周にある芸術・文化・スポーツ・温泉といった観光資源を結ぶ上で、唯一迂回するルートとなっている一級河川横河川の河口部に橋梁を新たに設け、名実ともに湖を周回する動線を整備することで、拠点施設間相互を円滑に結ぶネットワークの構築及び災害・緊急時の対応強化を図りたい。

#### <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係>

諏訪湖周は、近接する八ヶ岳高原を含めて、観光エリアとして既に広く認知されているが、今後は岡谷湖畔公園、諏訪湖博物館赤彦記念館等の既存資源を活用しつつ、文化・スポーツ・健康面を総合的に包含した余暇活動の機会や場を新たに設け、施設間相互の連携をさらに深めながら複合的に組み合わせることにより観光客等の増加を目指す。

### 拠点施設で行われる広域的特定活動の内容

#### <現況>

諏訪湖周には岡谷湖畔公園などのスポーツ・レクリエーション施設や、諏訪湖博物館赤彦記念館等の芸術文化施設、上諏訪温泉・諏訪湖ハイツのような健康施設等の魅力ある施設が点在している。しかし施設間相互の連携が弱いため利便性が必ずしも高くない。また公共交通としてはJR以外に諏訪湖周回バスが運行されているが、一部で湖周を走らないことや便数が少なく時間的制約も大きい等により観光客や利用者の増には直接的に寄与していない。このため現在は歩行者、自転車、自動車のいずれの利用形態に対しても利便性が低い状況にある。

#### <将来>

既存資源の有効活用や魅力の再発見とともに、施設相互の連携を含め、文化・芸術・レクリエーション・健康等の多様なニーズへ応えるための新たな関連イベントの開催により観光客等の増加を図る。また地域の公共交通だけではなく観光面からも湖周の拠点施設を連絡する周遊バスの運行体系の構築により利用者の増加を図る。

### 広域的特定活動との関係

#### <拠点施設整備の蓋然性>

諏訪湖周にある観光施設群は来訪者数の増を図るためにそれぞれ工夫を凝らしている。このような中、更なる魅力アップを図るため、岡谷湖畔公園の整備、諏訪湖博物館赤彦記念館のリニューアル工事等、利用者の増に結びつけるべく新たな取り組みを行っている。

#### <拠点施設に設定した理由>

岡谷湖畔公園のようなスポーツ・レクリエーション施設、諏訪湖博物館赤彦記念館のような博物館や美術館の他、温泉や健康増進等の施設が既に整備されており、また諏訪湖祭湖上花火大会や諏訪湖マラソン、地方都市では最大級の諏訪圏工業メッセ等で全国的に知名度が高い。また、このようなイベントで湖周道路や各種施設利用も活用されていること等、拠点としての注目度が高い。

### 重点地区(設定する場合に記述)

諏訪湖の湖周道路沿線には、現在建設中の岡谷湖畔公園や北澤美術館(本館、別館)、サンリツ服部美術館といった美術館や諏訪湖博物館赤彦記念館といった文化施設、また、すわっこランド、諏訪湖ハイツ、スポーツプラザといった温泉・健康・レクリエーション施設が集中的に立地しており、これらを包括する諏訪湖周辺を重点地区と位置づける。

## 拠点施設

施設名	菅平高原(観光施設)	所在地	長野県上田市
設置主体	菅平高原観光協会、民間等	管理・運営主体	菅平高原観光協会、民間等
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第2条2項2号
広域的特定活動の区分	第2条1項1号口	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画>			
菅平高原は、様々なスポーツ施設が整った合宿のメッカとして有名であるが、さらにゴルフ、テニス、スキーなど様々な観光施設を有しており、通年にわたり観光客が訪れている。しかし、平成6年度の132万人をピークに観光客は減少傾向にあり、平成18年度は109万人まで減少している。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性>			
菅平高原は、交通環境の悪化に加え交通拠点や他の観光施設との連携が円滑でない等により、観光客が減少している。このため上田菅平インターへのアクセスを円滑にすることにより、近接する丸子温泉郷、懐古園、軽井沢等との観光ネットワークが形成され、広域的な観光振興が可能である。このため、そのアクセスとなる(国)406号の整備を推進する。			
<目標と広域的特定活動・拠点施設との関係>			
菅平高原は、交通環境の悪化や他の観光施設との連携が円滑でない等により、観光客が減少している。しかし、豊かな自然環境を活かしたトレッキング、パラグライダー、ヘリスキー、スノーシューなど、年間を通じて様々な観光が充実しており、他にはない特色や魅力を有している。このため、交通拠点となる上田菅平インターへのアクセスを円滑にすることにより、同一観光圏内でそれぞれに魅力を持つ丸子温泉郷、懐古園、軽井沢等の各施設と相互連携が図られる。また、これにより各施設の相乗効果が期待されることから、観光客の増加が見込まれ、ひいては当地域の広域的な観光振興が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況>			
菅平高原は様々なスポーツ施設が整った合宿のメッカとして有名な場所であるが、交通環境の悪化や他の観光施設との連携が円滑でない等により、観光客が減少している。			
<将来>			
菅平高原は、近接する丸子温泉郷、更には、小諸、軽井沢等との観光ネットワークの形成により相互連携を強化し、広域的観光エリアの形成を図る。			
広域的特定活動との関係			
<拠点施設整備の蓋然性>			
<拠点施設に設定した理由>			
菅平高原は、知名度、自然環境、スポーツ施設など充実しており、魅力のある地域である。しかし、交通環境の悪化や他の観光施設との連携が円滑でない等により、観光客が減少している。このため、近接する丸子温泉郷、小諸、軽井沢等との観光ネットワークの形成により相互連携を図ることで、広域観光として各施設の魅力を相互に高めることができる。			
重点地区(設定する場合に記述)			

## 広域的地域活性化基盤整備計画の整備方針と基本的な方針等との整合性

計画の整備方針	方針に合致する主要な事業		
軽井沢周辺での交通の円滑化	主要地方道下仁田軽井沢線 軽井沢町南軽井沢 一般国道256号 上田市鹿教湯		
八ヶ岳山麓の松原高原、蓼科高原への交通の円滑化	一般国道141号南牧村板橋、主要地方道諏訪白樺湖小諸線 立科町白樺湖 主要地方道川上佐久線 小海町土村他、一般県道松原湖高原線 小海町松原 主要地方道川上佐久線 佐久市入沢～三分、一般県道東部望月線 東御市田之尻～畔田		
諏訪大社周辺での交通の円滑化	一般国道142号下諏訪町大社前		
諏訪湖周囲に点在する観光拠点の連携強化	一級河川諏訪湖 岡谷市南宮 主要地方道岡谷茅野線 諏訪市湖南		
菅平高原への交通の円滑化	一般国道406号 上田市菅平高原		
基本的な方針等との整合性(※1)	区分	整合性等の有無	左記の理由等
① 広域的地域活性化のための基盤整備に関する基本的な方針との適合の有無		有	広域的地域活性化のための基盤整備に関する基本的な方針
② 土地形成計画、社会資本整備重点計画、環境基本計画との調和の有無		有	社会資本整備重点計画の活力、安全、環境を推進するための資本整備の実施
③ 北海道総合開発計画、沖縄振興計画との調和の有無 (北海道及び沖縄のみ回答)		有・無	
④ その他の計画等との整合性の有無		有	まちづくり交付金(小諸市小諸宿、小海町松原湖周辺、新軽井沢地区、岡谷湖畔地区)
⑤ 関係市町村への意見聴取の有無(※2)		有	上田市、佐久市、小諸市、岡谷市、茅野市、軽井沢町、下諏訪町、長和町、小海町、立科町、南牧村に意見照会
⑥ 他の都道府県への意見聴取の有無(※2) (他の都道府県との境界にかかる計画の場合に回答)		無	
広域地方計画協議会での取扱い(※3)		無	
その他			

※1 ①から⑥については、整合性等の有無を判断した資料を添付すること。

※2 意見聴取「有」の場合は、「左記の理由等」欄に、意見聴取の方法及び関係市町村名又は他の都道府県名を記載すること。「無」の場合は、その理由を記載すること。

※3 広域地方計画協議会で本計画が検討された場合は「有」とし、その内容を記載すること。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費 (a)	4,236.540	交付限度額(b)	1906.440	国費率 (b/a)	0.4499993184
-------------	-----------	----------	----------	-----------	--------------

【基幹事業①】社会資本整備総合交付金対象事業

事業	細項目	事業箇所名	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考) 全体事業費	交付期間 内 事業費		交付対象 事業費	環境影響評価		
				開始 年度	終了 年度	開始 年度	終了 年度		うち官負担分	うち民負担分		対象 有無	手續終了 年月	
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅市街地基盤整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
優良建築物等整備事業														
住宅市街地基盤整備事業														
公営住宅整備事業等														
公園														
下水道														
河川		一級河川 諏訪湖 岡谷市南宮		1橋	H19	H23	H21	H23	310,101	310,101	310,101	0.000	310,101 無	
道路		(主)下仁軽井沢線軽井沢町南軽井沢	0.9km	H19	H23	H19	H23	916,713	916,713	916,713	0	916,713 無		
道路		(国)143号上田市築地	1.5km	H20	H21	H20	H21	413,480	413,480	413,480	0.000	413,480 無		
道路		(主)川上佐久線 佐久市入沢~三分	0.9km	H21	H23	H21	H23	425,008	425,008	425,008	0.000	425,008 無		
道路		(一)東部望月線 東御市田之尻~畔田	1.1km	H20	H23	H20	H23	379,900	379,900	379,900	0.000	379,900 無		
道路		(主)岡谷茅野線 諏訪市湖南	0.5km	H20	H22	H20	H22	259,405	259,405	259,405	0.000	259,405 無		
合計									312,495,806	312,495,806	312,495,806	0.000	2,704,607	

【基幹事業②】地域自主戦略交付金対象事業

事業	細項目	事業箇所名	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考) 全体事業費	交付期間 内 事業費		交付対象 事業費	環境影響評価	
				開始 年度	終了 年度	開始 年度	終了 年度		うち官負担分	うち民負担分		対象 有無	手續終了 年月
土地区画整理事業													
市街地再開発事業													
住宅市街地基盤整備事業	拠点開発型												
	沿道等整備型												
	密集住宅市街地整備型												
	耐震改修促進型												
優良建築物等整備事業													
住宅市街地基盤整備事業													
公営住宅整備事業等													
公園													
下水道													
河川													
道路		(主)諏訪白樺湖小諸線 立科町白樺湖 他	1.5km	H20	H23	H20	H23	134,193	134,193	134,193	0.000	134,193 無	
道路		(国)142号 下諏訪町大社前	0.2km	H19	H23	H19	H23	202,999	202,999	202,999	0.000	202,999 無	
道路		(国)141号 南牧村 板橋他	0.3km	H19	H22	H19	H22	52,100	52,100	52,100	0.000	52,100 無	
道路		(国)254号上田市荻窪~戸羽	0.3km	H19	H21	H19	H21	208,520	208,520	208,520	0.000	208,520 無	
道路		(一)松原湖高原線小海町松原	0.9km	H20	H23	H20	H23	364,995	364,995	364,995	0.000	364,995 無	
道路		(主)川上佐久線小海町土村他	0.1km	H20	H20	H20	H20	5,200	5,200	5,200	0.000	5,200 無	
道路		(国)254号上田市鹿教湯	0.7km	H21	H22	H21	H22	84,780	84,780	84,780	0.000	84,780 無	
道路		(都)中常田新町線 上田市常田	0.5km	H21	H23	H21	H23	300,000	300,000	300,000	0.000	300,000 無	
道路		(国)406号上田市菅平高原	5.0km	H21	H23	H21	H23	91,178	91,178	91,178	0.000	91,178 無	
道路		(国)142号 立科町芦田他	3基	H22	H23	H22	H23	30,072	30,072	30,072	0.000	30,072 無	
道路		(国)254号 佐久市内山トンネル	1式	H22	H22	H22	H22	33,852	33,852	33,852	0.000	33,852 無	
合計								1,507,889	1,507,889	1,507,889	0.000	1,507,889	

基幹事業費(A)=基幹事業①+基幹事業② 4,212,496

## 【提案事業①】社会資本整備総合交付金対象事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内			交付対象事業費	事業収益の有無
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		事業費	うち官負担分	うち民負担分		
<b>事業活用調査</b>															
地域自立・活性化活動推進事業	温泉地・スキー場地区再生モデル事業	別所温泉	民間	間		H21	H23	H21	H23	45,000	45,000	36,000	9,000	13,232	無
	温泉地・スキー場地区再生モデル事業	上諏訪温泉・諏訪湖	民間	間		H22	H24	H22	H23	45,000	30,000	22,500	7,500	6,343	無
	広域観光マップ	八ヶ岳山麓・軽井沢エリア	長野県	直		H22	H22	H22	H22	2,000	2,000	2,000	2,000	1,550	無
	観光人材養成講座	八ヶ岳山麓・軽井沢エリア	長野県	直		H23	H23	H23	H23	1,636	1,636	1,636	0	0,570	無
地域自立・活性化基盤整備支援事業	県自然環境保全地域等標識板設置事業	独鉱山ほか	長野県	直		H21	H22	H21	H22	0.349	0.349	0.349	0	0.349	無
	小規模山小屋トイレ整備事業	八ヶ岳	市町村・民間	間		H20	H20	H20	H20	3,000	3,000	1,500	1,500	1,500	無
<b>合計</b>										93,985	78,985	62,485	16,500	23,544	

## 【提案事業②】地域自主戦略交付金対象事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内			交付対象事業費	事業収益の有無
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		事業費	うち官負担分	うち民負担分		
<b>事業活用調査</b>															
地域自立・活性化活動推進事業															
	信州の登山道リフレッシュ事業	八ヶ岳	長野県・民間	直		H19	H19	H19	H19	0.500	0.500	0.500	0.000	0.500	無
<b>合計</b>										0.500	0.500	0.500	0.000	0.500	

$$\text{提案事業費(B)} = \text{提案事業①} + \text{提案事業②} \quad 24,044$$

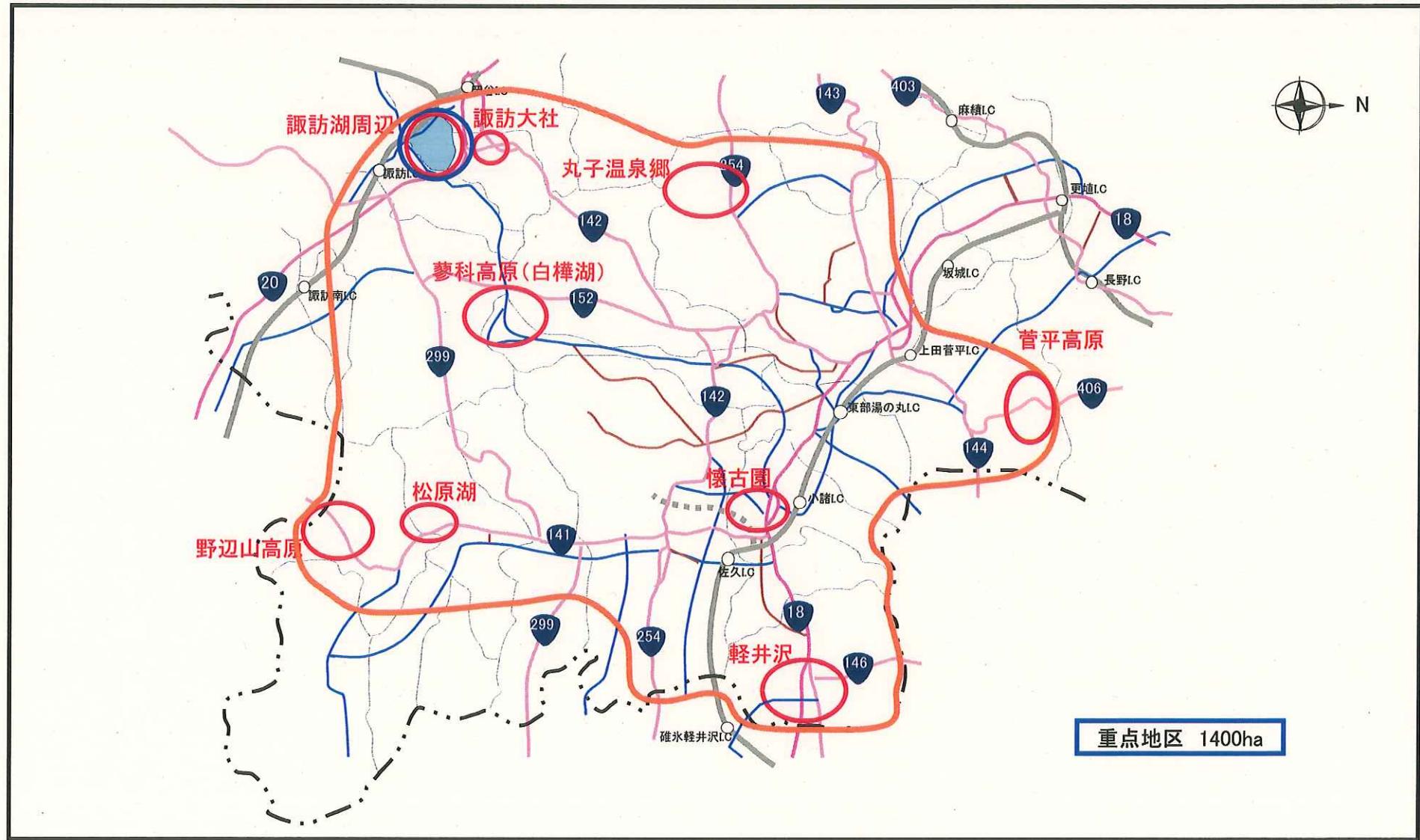
交付対象事業費 (基幹事業費(A) + 提案事業費(B))	4,236,540
うち、社会資本整備総合交付金対象事業費 計	2,728,151
うち、地域自主戦略交付金対象事業費 計	1,508,389

## (参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省	規模	(いづれかに○)				事業期間		全体事業費		
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	事業費	うち官負担分	
特殊改良(地域連携推進)事業	(国)289号 茅野市・芦ヶ沢バイパス	長野県	国土交通省	小規模		○			H18	H21	121		
特殊改良(地域連携推進)事業	(国)254号 立科町・極楽坂	長野県	国土交通省	小規模		○			H17	H22	543		
特殊改良(地域連携推進)事業	(国)143号 青木村・弘法拵幅	長野県	国土交通省	小規模		○			H16	H22	1,300		
道路改築(交通円滑化)事業	(国)18号 上田市～飯城町・上田坂城バイパス	国土交通省	国土交通省	大規模	○				H3	一	38,000		
道路改築(交通円滑化)事業	(国)141号 佐久市・臼田～野沢バイパス	長野県	国土交通省	小規模		○			H16	H22	1,590		
道路改築(地域連携推進)事業	(国)142号 佐久市・佐久南拵幅	長野県	国土交通省	小規模		○			H11	H24	5,100		
地方道路交付金事業	(主)川上佐久線 佐久市入沢～三分	長野県	国土交通省	小規模		○			H17	H24	400		
地方道路交付金事業	(一)東部望月線 東御市田之原～畔田	長野県	国土交通省	小規模		○			H19	H23	200		
地方道路交付金事業	(主)岡谷茅野線 諏訪市湖南	長野県	国土交通省	小規模		○			H18	H22	700		
地方道路交付金事業	(一)借宿小諸線 御代田町児玉	長野県	国土交通省	小規模		○			H18	H20	290		
<b>合計</b>											48,244		

## 拠点施設・重点地区

八ヶ岳山麓・軽井沢地域(長野県)	面積 1,400ha	所在地 上田市、佐久市、小諸市、岡谷市、茅野市、軽井沢町、下諏訪町、長和町、 小海町、立科町、南牧村	重点地区 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
------------------	---------------	--	--



## 八ヶ岳山麓・軽井沢地域(長野県) 整備方針概要図

目標	軽井沢地区及びハケ岳山麓地域における交通諸問題を解決し、広域観光の活性化を目指す。	代表的な指標	都市農村交流人口(千人)	514千人(H18年度) → 530千人(H23年度)
			諏訪圏工業メッセ来訪者(人)	23,100人(H17年度) → 27,000人(H23年度)
			黒曜石ミュージアム等来訪者(人)	21,000人(H17年度) → 26,000千人(H23年度)

